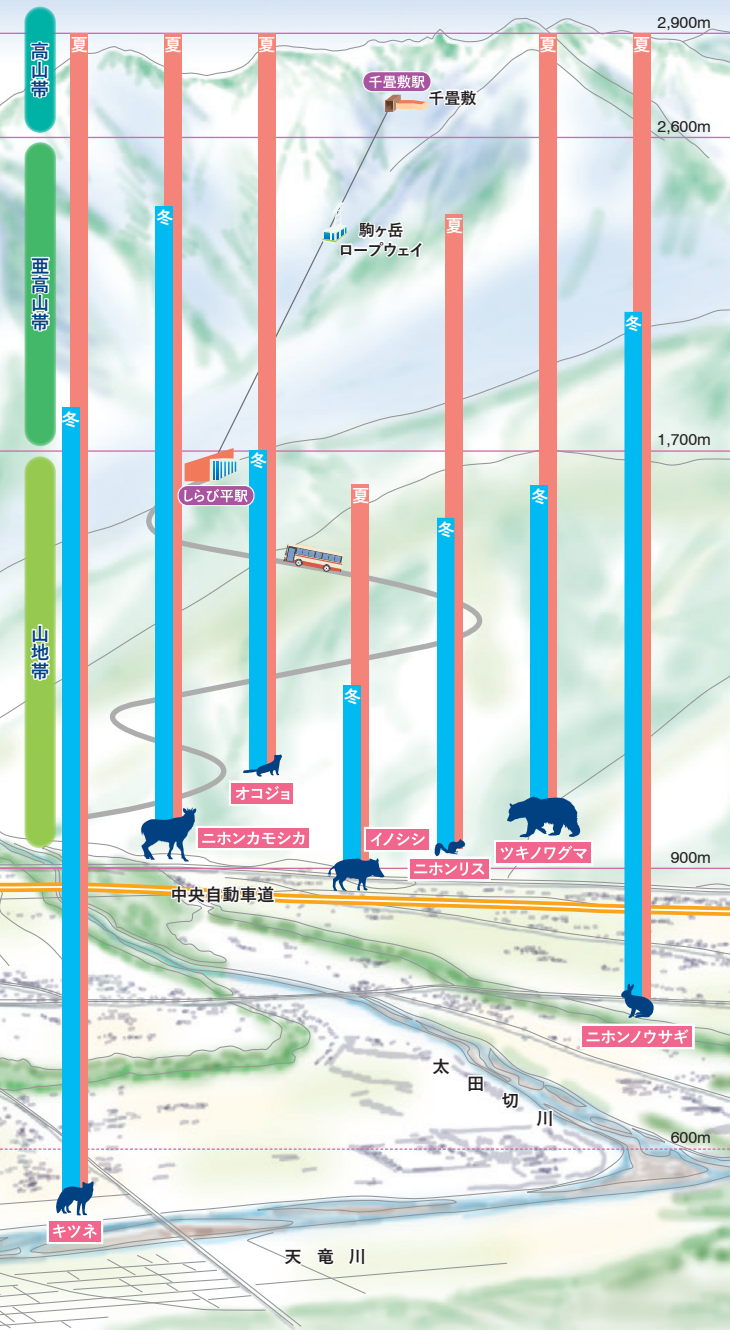


## 動物たちの垂直分布



ライチョウ



ホシガラス

## 高山で見られる生き物

千畳敷が氷河におおわれていた氷期が終わり温暖な時期になると、寒冷な気候に適応した生き物たちは、日本列島の標高の高い場所に遺存的に取り残されました。現在の高山植物やライチョウ、高山チョウのベニヒカゲやクモマベニヒカゲといった生き物がそれにあたります。

個体の移動能力が高いほ乳類では高山固有の種類はいませんが、オコジョやニホンノウサギなど、冬も標高の高い場所で生活しているものもいます。

一方、夏の間にはエサを求めて高山に登ってくる種類もいます。ツキノワグマやニホンザルはそのような動物です。昆虫でも、クジャクチョウやハナアブの仲間などは、高山植物の花の蜜を求めて高山へ飛来します。



## 中央アルプス国定公園

CHUO ALPS QUASI-NATIONAL PARK

発行元・問い合わせ先／駒ヶ根市商工観光課

監修／中央アルプス駒ヶ岳(千畳敷カール)保存管理委員会

TEL.0265-96-7724 FAX.0265-83-1278

<https://www.city.komagane.nagano.jp/>

無断転載および複製等の行為を禁ず

動物にエサを与えないで下さい。昆虫類の採集は禁止されています。

## 長野県天然記念物 中央アルプス駒ヶ岳

### 中央アルプスの動物と昆虫



ベニヒカゲ



ツキノワグマ

夏になるとエサを求め亜高山や高山にも現れます。もし出会っても大声をだしたり、走って逃げたりしないようにして下さい。



オコジョ※

岩の多い場所や山小屋周辺で見られることが多く、冬は白い毛で覆われます。

ニホンカモシカ

しらび平までのバスやロープウェイの車窓から、その姿を見かけることがあります。国の特別天然記念物です。



ニホンザル

エサを求めて高山にやってくる場合があります。以前は千畳敷でもたびたび目撃されました。

ニホンノウサギの足跡▶



ニホンノウサギ

姿を見かけることは稀ですが、雪が降ると特徴的な足跡をよく見かけます。

# 千畳敷カールや中央アルプスの高山・亜高山帯で見られる動物と昆虫

キソコマコバネヒナバタ

高山に生息する小さなバタです。翅が小さく飛ぶことができないため、山ごとに分化しており、中央アルプスのものは固有亜種と考えられています。



ベニヒカゲ

ベニヒカゲとクモマベニヒカゲは高山チョウでどちらの種も長野県の天然記念物に指定されています。



クモマベニヒカゲ

ベニヒカゲとクモマベニヒカゲの見分け方



ベニヒカゲ



クモマベニヒカゲ

閉じたときの後ろの翅の模様はねが異なります。クモマベニヒカゲでは翅の縁が白く縁取られることも特徴です。



キベリタテハ

幼虫はダケカンバを食べ、成虫は高山でもよく見られます。個体数が多い年と少ない年があります。



クジャクチョウ

花の蜜を求めて、お花畑に飛来します。幼虫は山麓で育ちます。



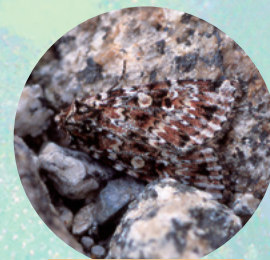
アサギマダラ

渡りをするチョウとして有名で、夏にしらび平周辺でよく見られます。秋には中央アルプスの稜線を越えて南へ移動していきます。



ヨコモンヒラタアブ

高山植物の花には、ハナアブの仲間がたくさん訪れます。ハチに似ていて人の手などにも止まりますが、刺さらないかわいい虫です。



アルプスヤガ

本州と北海道の高山に分布する高山蛾の一種です。翅の模様が岩とよく似ています。



クモガタガンボの仲間

翅のない虫で、雪の上を活発に歩きます。クモに似ていますがハエの仲間です。